

卒業の認定に関する方針 (DP)

医学類の教育理念は「人間性を重視し、かつ高度で総合的な能力を有する医療人・医学者の育成を図ることにより、世界の医療、健康、福祉に貢献する」である。学士（医学）の学位を授与される学生は、以下の学修成果を上げた者とする。

学修到達目標

A. 知識及び技能

- ・基礎医学・社会医学領域における専門的な知識を身につける。
- ・臨床医学領域について専門的な知識を身につける。
- ・診断及び治療の基本的技能を修得する。
- ・自ら必要な課題を発見し、自己学習によってそれを解決する姿勢を身につける。

B. 研究心

- ・科学的根拠に基づく医療の評価と検証の必要性を理解する。
- ・探求心・研究心をもって生涯にわたる継続的学習を行うことができる。
- ・科学的研究の最新情報を収集・実践できる能力を持っている。

C. 倫理観

- ・患者の自己決定権の重要性を理解する。
- ・自分自身の行動を省察し律することができる。
- ・医師としての社会的責任を理解する。
- ・価値観の多様性を理解する。
- ・幅広い教養を背景に、患者本位の医療を実践出来る。

D. 地域医療

- ・地域における医療・保健・福祉などの連携を理解する。
- ・医療の経済的側面を理解する。

E. コミュニケーション

- ・患者・家族等と良好な関係を築く。
- ・他の医療従事者との連携を重視する。
- ・強い責任感、指導力、意思疎通能力をもって、効率よく問題解決に当たる事が出来る。
- ・英語による国際的なコミュニケーション能力を身に付ける。

F. 危険・事故の予防

- ・医療従事者の健康管理の重要性を理解している。
- ・医療事故に遭遇した際の対処法について理解している。
- ・医療過誤に関連した医師の責任と罰則規定を理解している。